

改訂日 2013年10月11日(第7版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サブマージ® (展着剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1047
FAX番号	03-6221-1050
緊急連絡先	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分2
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器/全身毒性(単回)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復)	区分1	
環境に対する有害性:	急性水生毒性	区分3
	慢性水生毒性	区分3

* 記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	引火性の高い液体及び蒸気
	飲み込むと有害(経口)
	軽度の皮膚刺激
	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	臓器の障害
	長期または反復暴露による臓器の障害

注意書き:	<p>水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害 容器を密閉しておく。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。禁煙。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。 取扱い時には飲食、喫煙をしない。 指定された個人用保護具を使用する。 取扱い後はよく手を洗う。 ミスト、蒸気の吸入を避ける。 ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 火災の場合には適切な消火方法をとる。 漏出物を回収する。 容器を密閉し食品と区別して、直射日光の当たらない涼しく換気の良い 場所で施錠して保管する。 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の 廃棄物処理業者に業務委託する。</p>
国/地域情報	引火性液体 (消防法危険物第4類第1石油類、水溶性液体)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	含有量 (%)	化学特性(化学式又は構造式)	官報公示整理番号(化審法/安衛法)	CAS No.
アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	50.0	—	3-1906	69227-09-4
有機溶剤 等 (メタノール)	50.0 (48.0)	— (CH ₄ O)	— (2-201)	— (67-56-1)

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合:	汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を石鹼で洗浄し多量の水を用いて洗い流す。皮膚の変色、痛み等がある場合は、医師の診断を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合:	直ちに清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。直ちに医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせないで直ちに医師の手当を受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示すこと。
医療関係者への情報:	特定の解毒剤はない。対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧放水、耐アルコール性泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。
除去方法	土砂、おが屑、その他の吸収剤で漏出物を吸収し、密封できる容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱いの際は適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 ・危険物第4類第1石油類に属するので、火気には十分注意する。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。 ・小児の手の届かない所に保管する。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・消防法の定めに従う。火気厳禁。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。 						
管理濃度	未設定						
許容濃度	<table border="0"> <tr> <td>日本産業衛生学会</td> <td>メタノール</td> <td>200ppm</td> </tr> <tr> <td>ACGIH</td> <td>メタノール</td> <td>200ppm</td> </tr> </table>	日本産業衛生学会	メタノール	200ppm	ACGIH	メタノール	200ppm
日本産業衛生学会	メタノール	200ppm					
ACGIH	メタノール	200ppm					

保護具	呼吸器用の保護具	保護マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、 ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

形状	粘稠液体
色	淡黄色澄明
比重	0.949 (20℃)
pH	5.74 (20℃、1%希釈)
引火点	12.5 °C (セタ密閉式)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性経口毒性 LD ₅₀	ラット	5656 mg/kg(♂), 1569 mg/kg(♀)
急性経口毒性 LD ₅₀	マウス	4556 mg/kg(♂), 4261 mg/kg(♀)
急性経皮毒性 LD ₅₀	ラット	>2000 mg/kg(♂,♀)
皮膚刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり(原液) 刺激性なし(3000 倍希釈液)
眼刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり
皮膚感作性	モルモット	感作性なし
生殖毒性	区分 1B に分類されるメタノールをカットオフ値の 0.1%以上含有することから区分 1B とした。	
特定標的臓器／全身毒性(単回)	区分 1 に分類されるメタノールをカットオフ値の 1.0%以上含有することから区分 1 とした。	
特定標的臓器／全身毒性(反復)	区分 1 に分類されるメタノールをカットオフ値の 1.0%以上含有することから区分 1 とした。	

12. 環境影響情報

生体毒性:		
水産動植物への影響	コイ LC ₅₀ (96hr)	60.4 mg/L

ミジンコ EC ₅₀ (48hr)	13.5 mg/L
藻類 EbC ₅₀ (72hr)	53.7 mg/L
ErC ₅₀ (72hr)	174 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス 3
国連番号	1993
品名	引火性液体、n.o.s. (メタノール)
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 20658 号
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知対象物質 メタノール 48%
消防法	危険物第 4 類第 1 石油類(水溶性液体)
PRTR 法	非該当

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱

い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジエンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門	電話番号
HSEグループ	03-6221-1047
サプライチェーン	03-6221-3805

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「サブマージ」はシンジエンタ社の登録商標です。